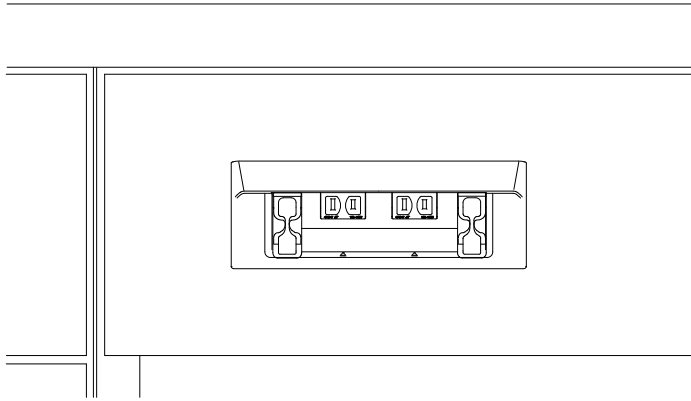


キッチンコンセント 設置説明書 ホーローシステムキッチン編



もくじ

1. 設置される方へのお願い……	1
2. 安全上のご注意 ……	2
3. 各部の名称・部品表……	3
4. 設置前のご確認 ……	4
5. 設置方法	
システムキッチン設置工事……	5
電気工事……	6
6. お願い事項……	10

1. 設置される方へのお願い

- 本説明書は、キッチンコンセントのホーロー製システムキッチン取付に関する設置説明書です。
フロアベースキャビネットや、その他のキャビネット、およびビルトイン機器・水栓金具・オプションは、それぞれに添付する設置説明書をご覧ください、正しい設置を行ってください。
- 設置完了後、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。
- コンセントユニット（小箱）に同梱されている取扱説明書等は、お客様にお渡しする大切な書類です。
紛失や汚れのないように保管し、設置完了後、お客様にお渡しください。
なお、この設置説明書についても、次工程および保守等に必要場合がありますので、
取扱説明書と同様に保管してください。

2. 安全上のご注意

必ずお守りください

設置前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。

●表示内容を見逃して誤った設置をしたときに生じる
危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示
で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。		このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。
 注意	この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。		このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告

分解したり、修理・改造したりしない。



本体が破損して、けがをするおそれがあります。

充電部が露出した電源線を放置しない。



充電部が露出している場合、火災や感電の原因になります。

電気配線を持ったり、力を加えたりしない。



配線の破損や接続不良、充電部の露出が生じ、火災や感電の原因となります。

電気工事は、関連する法令・規程に従って必ず「有資格者」が行う。



火災や感電のおそれがあります。

電源は、交流100V・15A以上の単独回路で使用する。



他の回路と併用すると、火災の原因となります。

取り付けは本説明書に従い、正しく行う。



誤った設置をすると、火災・感電・破損・故障のおそれがあります。

電源線を接続する場合や外す場合は、必ずブレーカーを切って行う。



感電やショートのおそれがあります。

電源線は端子台の奥まで確実に差し込む（軽く引っ張って、容易に抜けないことを確認する）



差し込みが不十分な場合、発火するおそれがあり、焼損や火災の原因となります。

注意

- ねじは必ず手回しドライバーで取り付ける。
- 必要以上に締めすぎない。



締めすぎると破損するおそれがあります。

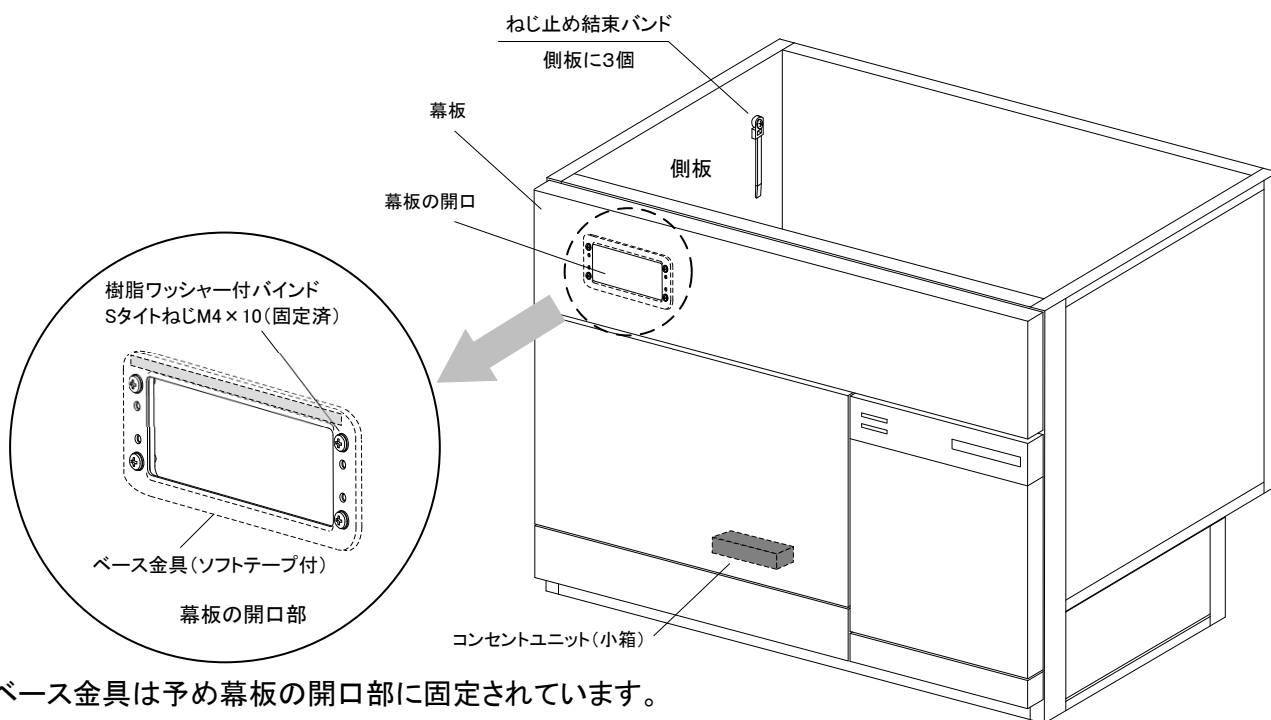
- 必ず付属の部品や指定のねじを使用する。
- 取り付け完了後は、キッチンコンセントの
がたつきや緩みがないことを確認する。



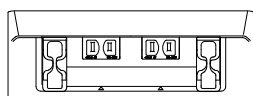
キッチンコンセントが落下して、けがをする
おそれがあります。

3. 各部の名称・部品表

各部の名称



ベース金具は予め幕板の開口部に固定されています。



コンセントユニット

使用電圧	コンセントの電力容量
交流100V	2口合計 1500Wまで

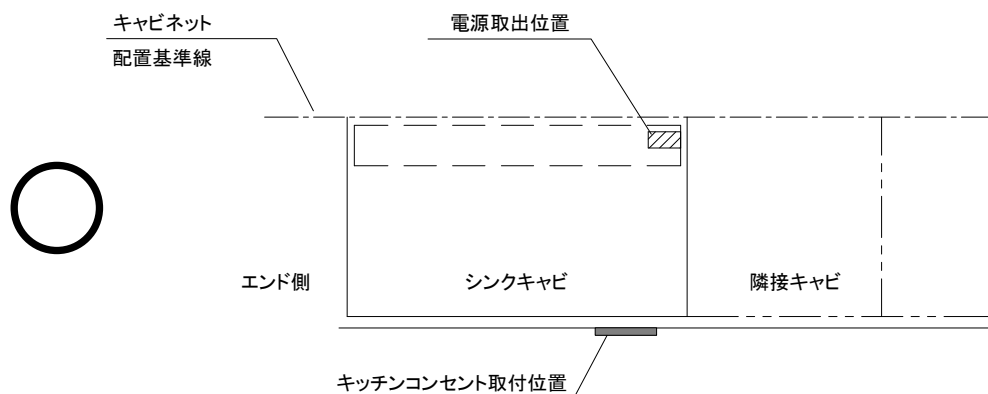
コンセントユニット(小箱)同梱部品

部品名	図	数量
フードカバー		1
本体 (パッキン付き)		1
バインド小ねじ M4×10 (本体固定用)		4
コードフック		2
プレート取付枠 (埋込扉付コンセント・ リード線付)		1
トラス小ねじ M4×12 (プレート取付枠固定用)		2

部品名	図	数量
背面カバー (パッキン付き)		1
ガラス編込チューブ		1
引継ぎチラシ		1
設置説明書		1
取扱説明書		1

4. 設置前のご確認

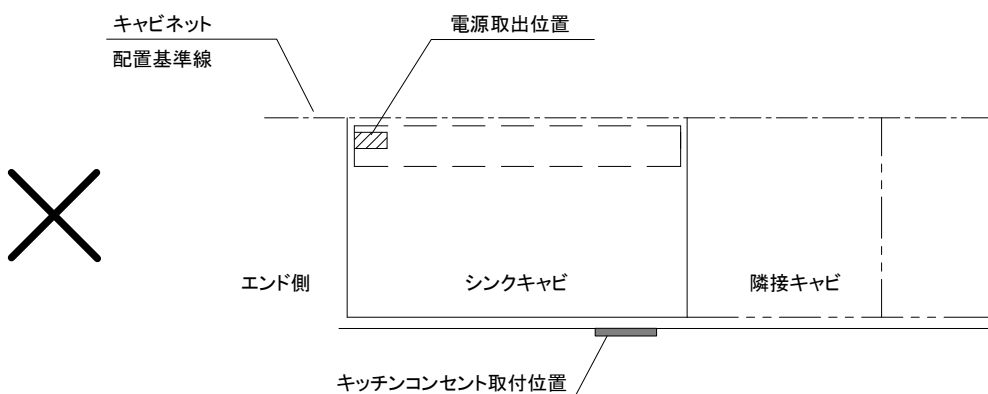
電源線の(床)取出位置とキッチンコンセント取付位置の左右勝手が一致していることを確認してください。



キッチンコンセント取付位置がシンクキャビネット右側の場合(電源線取出位置も右側)

注) 電源線の(床)取出位置(引き込み位置)の左右勝手は、幕板の開口(キッチンコンセント取付位置)と一致します。

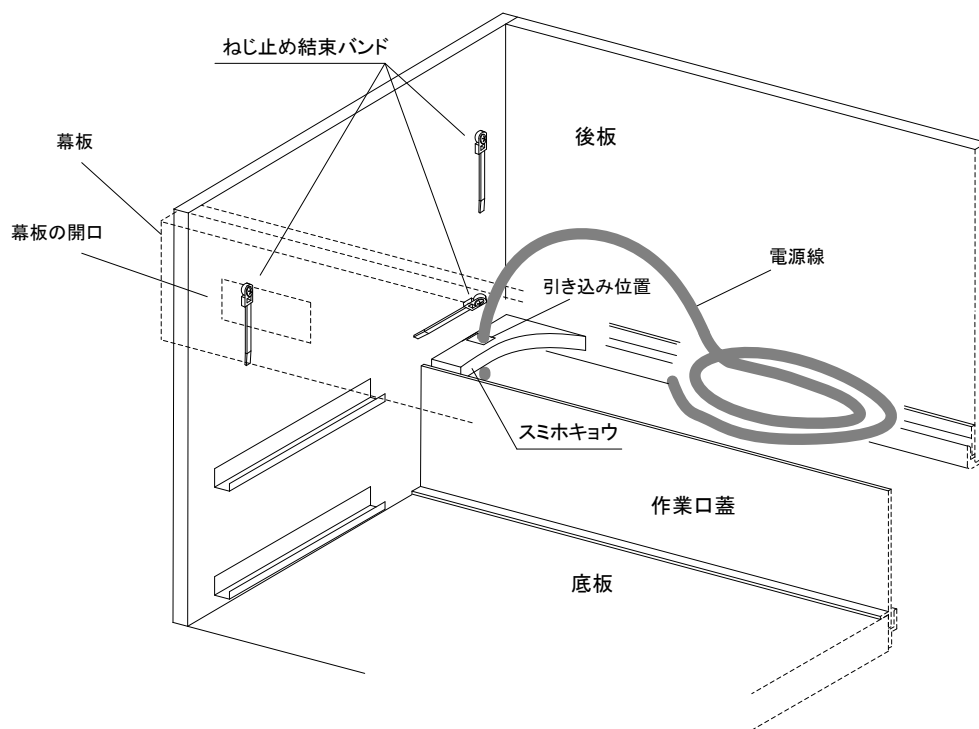
(床)取出位置(引き込み位置)の左右勝手を変更しないでください。



5. 設置方法

システムキッチン設置工事

注) 電源線の長さがスミホキョウを基準として1.7m以上あることを確認ください。



【1. 電源線の引き込み】

幕板の開口がある側のスミホキョウの穴から電源線をキャビネット内に引き込みます。

注) 必ず幕板の開口(キッチンコンセント取付位置)がある側から電源線を引き込んでください。

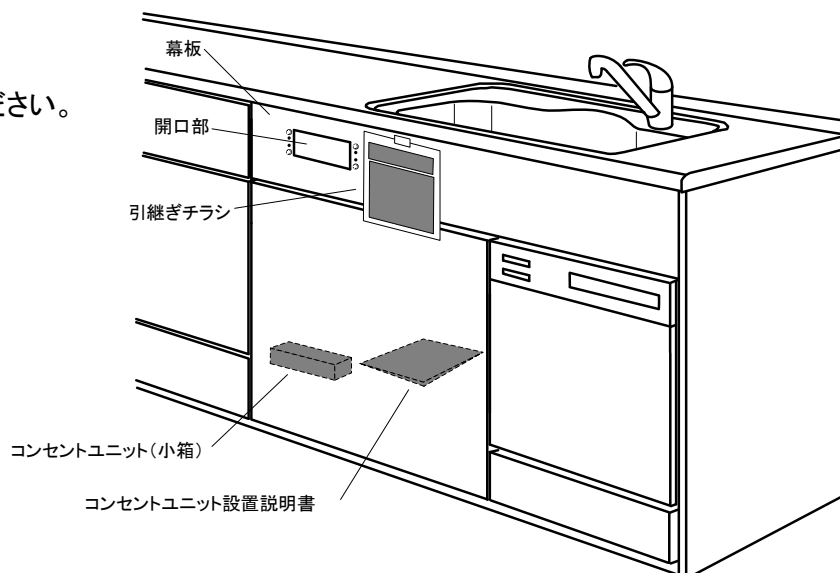
引き込み位置の左右勝手を変更しないでください。

反対側から引き込むと電源線の固定が不十分となり、電源線と収納物が干渉する可能性があります。

【2. 電気工事業者へ引継ぎ】

コンセントユニットの小箱(シンクキャビネットの引出しに同梱)から引継ぎチラシを取出し、幕板の開口部付近にテープ止めしてください。

コンセントユニットの小箱と本設置説明書をシンクキャビネットの引出し内に収納してください。



警告

電気工事は、関連する法令・規定にしたがって、必ず「有資格者」が行ってください。



火災や感電のおそれがあります。

【1. 取付前の確認】

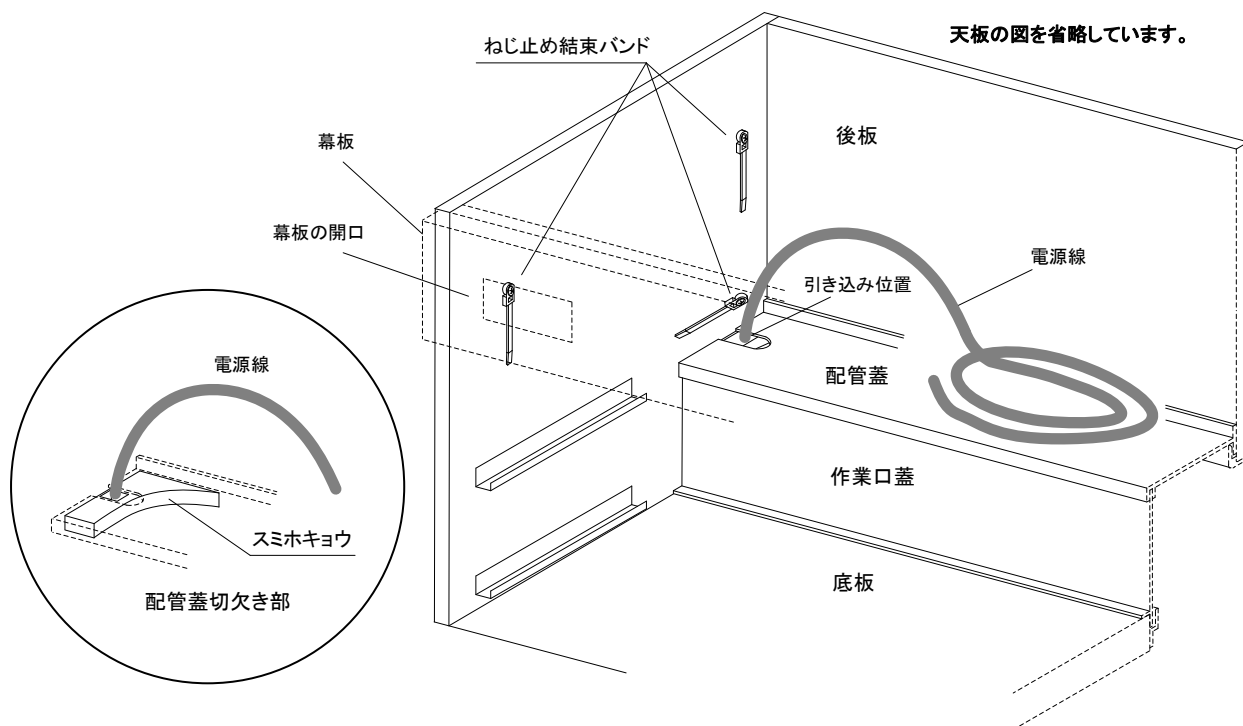
電源線が配管蓋下にあるスミホキョウの穴からキャビネット内に引き込まれていることを確認してください。

引き込まれていない場合は図を参考に電源線をキャビネット内に引き込みます。

電源線はVVF1.6またはVVF2.0に対応します。

注) 電源線の長さがスミホキョウを基準として1.7m以上あることを確認ください。

注) 電源線同士を接続する場合、接続部分をキャビネット内に設けないでください。
接続部分が引出しやシャワーホースと干渉する恐れがあります。



注) 引き込み位置の左右勝手は、幕板の開口(キッチンコンセント取付位置)と一致します。
引き込み位置の左右勝手を変更しないでください。

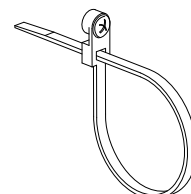
【2. ねじ止め結束バンドで輪を作る】

予め側板に固定されているねじ止め結束バンドで図を参考に輪を作ってください。

ねじ止め結束バンドを取り外して作業する場合は、取り付ける向きに注意してください。

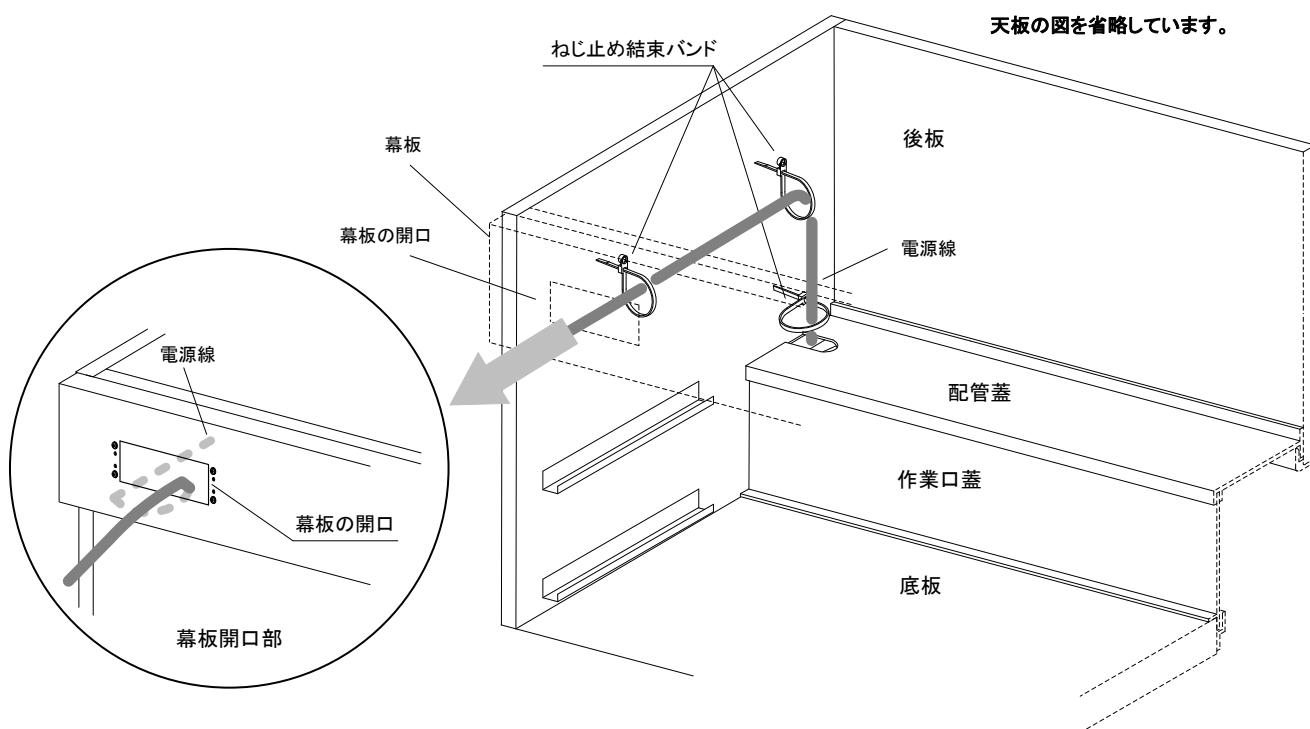
ねじ止め結束バンド3個全て行ってください。

凸部を側板へ向けて取り付ける



【3. 電源線を輪に通し、キャビネット内を引き回す】

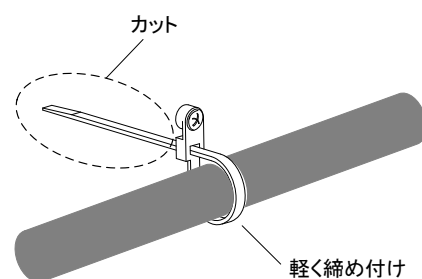
電源線をねじ止め結束バンドの輪に通し、キャビネット内を引き回してください。
電源線先端は幕板の開口から引き出してください。



【4. ねじ止め結束バンドのバンドを締め、先端をカットする】

電源線のたるみが無いよう位置を調整した後、ねじ止め結束バンドのバンドを締めてください。
余分なバンド先端をカットしてください。
ねじ止め結束バンド3個全て行ってください。

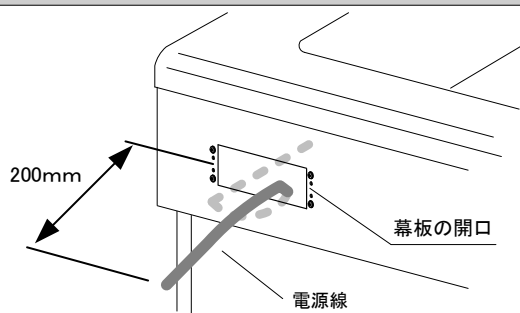
注) 電源線はたるみが無いように側板に沿って固定してください。
バンドは電源線の調整ができるように軽く締め付けてください。



【5. 電源線を幕板の開口から200mm引き出してカットする】

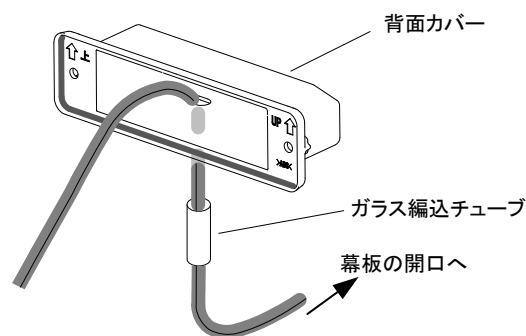
幕板の開口から引き出した電源線の長さを200mmとし、残りはカットしてください。

注) 引き出した200mmは結線作業時のスペースとなります。結線後は幕板の開口からキャビネット内に引き込みますので、長さを守ってください。長すぎると幕板の下に垂れ下がり、引出しと干渉します。



【6. 電源線にガラス編込チューブと背面カバーを通す】

電源線を結線する前に、予めガラス編込チューブと背面カバーを電源線に通してください。



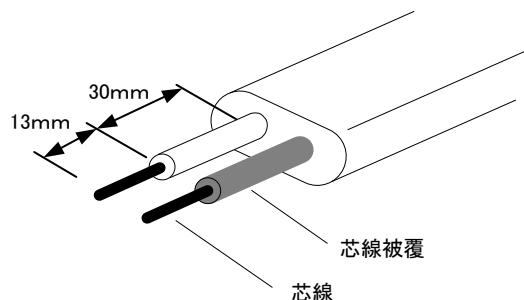
【7. 電源線の末端を処理し、コンセントに結線する】

電源線の末端を処理し、コンセントに結線してください。

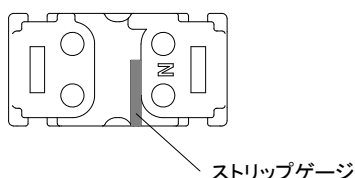
芯線・芯線被覆の寸法は図を参考にしてください。

注) 芯線被覆の長さは30mmまでにしてください。

芯線被覆が長いとガラス編込チューブから芯線被覆が露出してしまいます。



芯線長さをコンセントのストリップゲージで確認してください。



警告

電源線は端子台の奥まで確実に差し込む
(軽く引っ張って、容易に抜けないことを確認する)

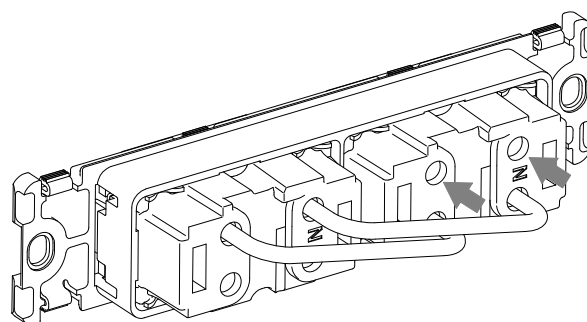


差し込みが不十分な場合、発火するおそれがあり、焼損や火災の原因となります。

図を参考にN(接地側)が右に来るように持ち、矢印の位置に結線してください。

注) N(接地側)が右になるように取り付けることで、コンセント上下が正しい状態となります。

N(接地側)に白い電源線を結線してください。

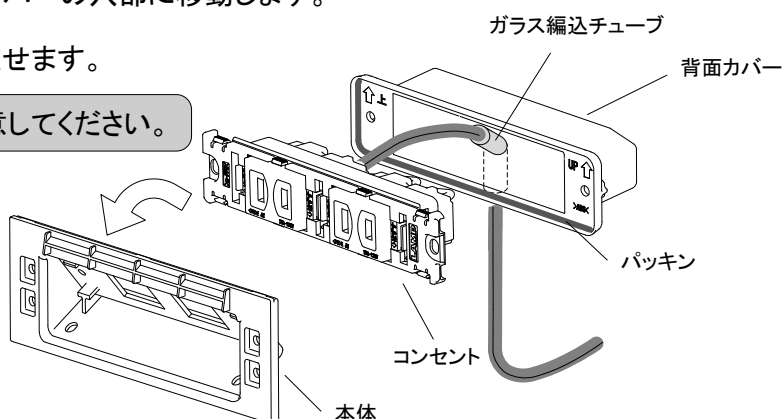


【8. 背面カバー・コンセント・本体をねじ固定する】

予め通しておいたガラス編込チューブを背面カバーの穴部に移動します。

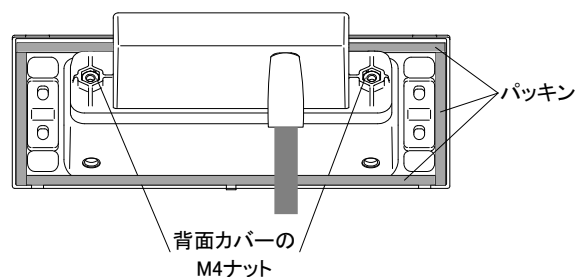
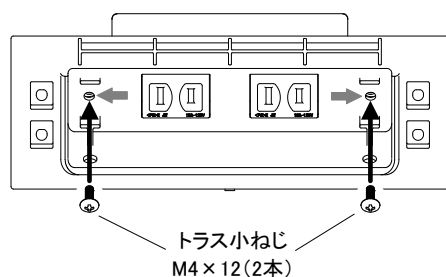
図の順番でコンセントと背面カバーを本体に被せます。

注) 背面カバーのパッキンを傷めないよう注意してください。



電気工事

被せた状態のまま、本体の表側からトラス小ねじM4×12(2本)で固定します。
(背面カバーのM4ナットに対してトラス小ねじを固定します)



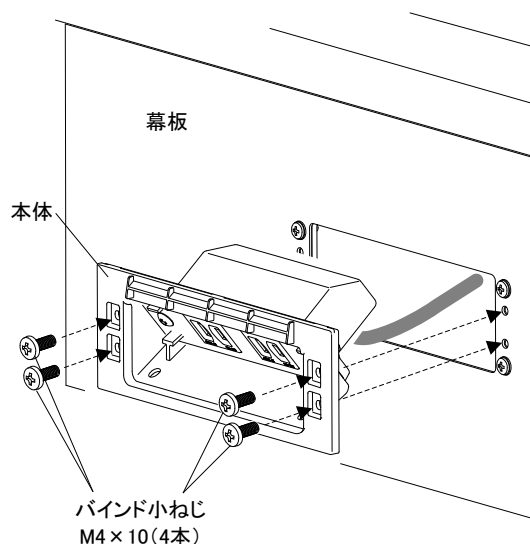
注) 手回しドライバーを使用してください。

注) パッキンが付いていることを確認してください。

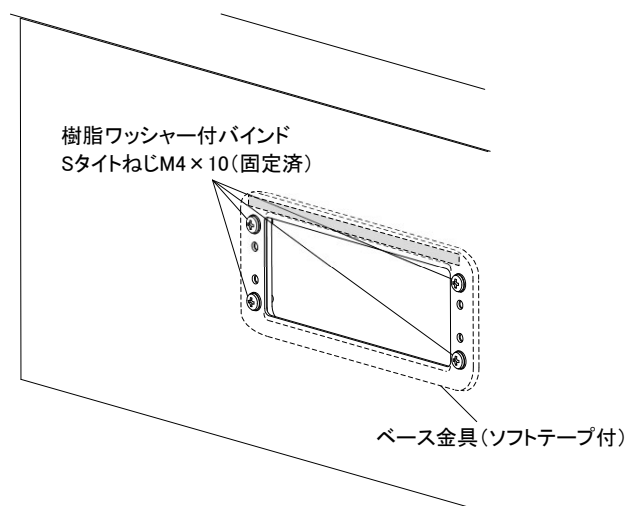
【9. 本体を幕板にねじ固定する】

本体をバインド小ねじM4×10(4本)で幕板に固定してください。

注) 手回しドライバーを使用してください。



注) 予め幕板にはベース金具が樹脂ワッシャー付バインド
SタイトねじM4×10(4本)で固定されています。
(本体を固定するねじと種類が異なります)

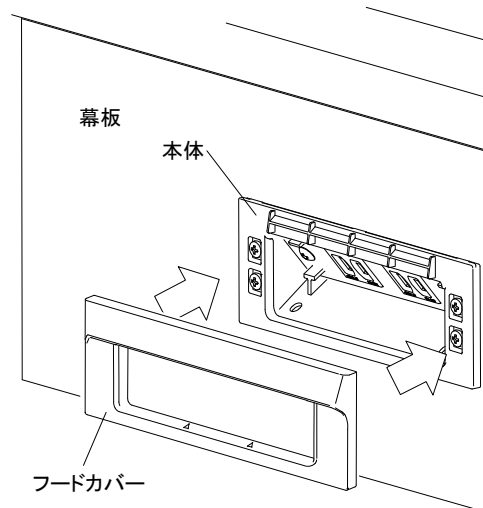
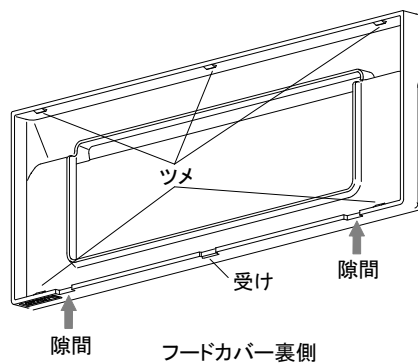


電気工事

【10. 本体にフードカバーを取り付ける】

フードカバー上下のツメ・受けを本体に嵌合させて固定します。
上のツメから固定します。

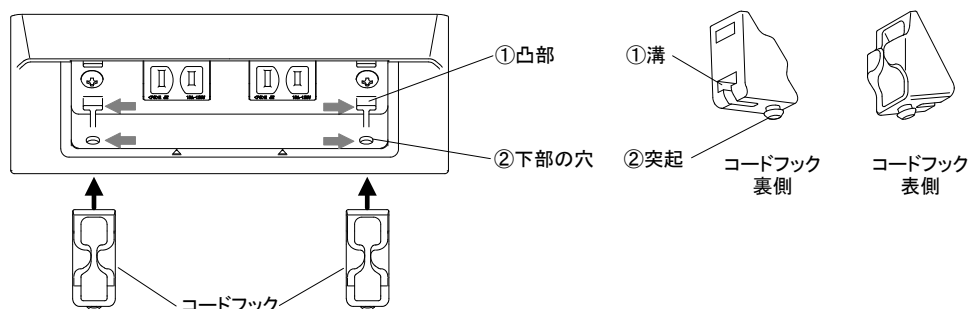
注) フードカバーを取り外す場合はフードカバー下面の隙間に
マイナスドライバーを差し込んで外してください。



【11. 本体にコードフックを取り付ける】

- ① 本体の凸部にコードフックの溝を合わせて差込んでください。
- ② 本体下部の穴にコードフックの突起を押し込んでください。

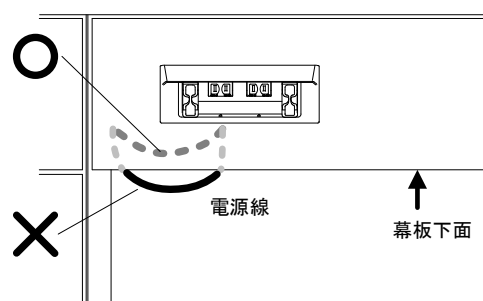
注) コードフックの突起を本体下部の穴に差し込む際は、
根元まで完全に嵌合させてください。



【12. 取り付け後の確認をする】

以下の項目を確認してください。

- ① 幕板と本体パッキンの間に隙間がないこと。
- ② コンセントユニットにがたつきがないこと。
- ③ 電源線にきずや無理な曲げがないこと。
- ④ コンセントに通電していること。
- ⑤ 電源線が幕板下面から下方へ出ていないこと。
下方へ出ている場合は電源線を折り曲げるなどして調整する。



6. お願い事項

取扱説明書と本設置説明書はともにお客様にお渡ししてください。

タカラスタンダード株式会社

本社 〒536-8536 大阪市城東区鳴野東1丁目2番1号

セッチセツメイショDMK-HTS 2J-1



* 1 4 9 0 4 2 4 1 *